

身近な方が新型コロナウイルス陽性者となった時の対応方法

身近な方からの感染の可能性は？

身近な方の情報

- 陽性者が有症状の場合 症状が発現した日の2日前 … 令和 年 月 日 = (A)
- 陽性者が無症状の場合 検体を採取した日の2日前 … 令和 年 月 日 = (A)

身近な方との接触

- 陽性者と最後に会った日 … 令和 年 月 日 = (B)

(B)が(A)以降である

はい

いいえ

感染する可能性は低いです

いいえ

感染可能期間中に以下の接触をしたか確認しましょう。ひとつでも当てはまると「感染の可能性」があります。

- お互いにマスクなしで、手が触れる距離で15分以上会話した
- 陽性者がマスクを着用せず、手が触れる距離で15分以上会話した
例) 食事やおやつを会話しながら一緒に食べた、マスクを正しく着用していない等

はい

あなたは感染の可能性ががあります

(B)から10日間は、健康観察を行ってください。
検査を受けて陰性であったとしても、10日間の健康観察や外出自粛をお願いします。

- 1日2回、体温を測り健康状態を確認
- 仕事を含めた不要不急の外出は控えること
- 他の人との接触をしないようにすること

● 症状がある方は新型コロナウイルス診療・検査医療機関にご相談ください。

受診する際には、「陽性者と接触があった」ことを伝えてください。受診にかかる費用は受診する医療機関にご確認ください。

※医療機関が見つからない場合は、下記にご相談ください。

和歌山市新型コロナウイルス感染症健康・受診相談窓口(073-488-5112(土日祝を含む全日の9時~17時45分))

● 症状のない方は

原則、陽性者と最後に会った日から10日間自宅待機をしていただき、毎日体温を測り、健康観察をお願いします。

身近な方が新型コロナウイルス陽性者となった時の対応方法

新型コロナウイルス感染症については、いつ、だれが、どこで感染してもおかしくない状況です。

親しい友人・知人など身近な方が感染したとしても、自身への感染を防ぐために、日ごろからの感染対策が重要です。

このリーフレットは、身近な方から「新型コロナウイルス感染症と診断された」と連絡があったときに、市民の皆さまが行うことについてまとめたものです。ご自身や大切な方の健康を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

Q1 身近な方から「新型コロナウイルス感染症と診断された」と連絡が来たら

→A1 次の項目について、陽性者に確認してください。

- ◆ 陽性者に確認する事項
 - ✓ 検査日
 - ✓ 発病（症状が出た）した日
 - ✓ 発病した2日前から**共に行動した日**を確認する。※無症状の方は検査日の2日前から
- ◆ ご自身の体調を確認し症状がある場合は[新型コロナウイルス診療・検査医療機関](#)を受診する。
※医療機関が見つからない場合は、下記にご相談ください。
和歌山市新型コロナウイルス感染症健康・受診相談窓口（073-488-5112（土日祝を含む全日の9時～17時45分））
- ◆ 感染の可能性がある状況か確認する。

Q2 感染の可能性がある状況とは？

→A2 次のような状況を参考にしてください。

- ◆ 陽性者と、感染可能期間中（発病した2日前から入院や自宅待機開始までの期間）に、マスクをしないで（アゴにずらして）会話をした人です。
- ◆ 目安は「対面で話す」、距離は「1メートル以内」、時間は「15分以上」です。
- ◆ このほか、「咳やくしゃみをしていた」「換気が悪かった」「大きな声を出した」場合は、感染の可能性があると考えましょう。

参考：国立感染症研究所

[新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領\(2021年1月8日版\) \(niid.go.jp\)](#)

Q3 「陽性者」にならないためには？

→A3 次のことに注意しましょう。

陽性者となると、外出自粛など社会活動が大きく制限されてしまいます。日ごろから感染対策を行い、新型コロナウイルス感染症を予防しましょう。

1. 換気の徹底
2. 手洗い（手指消毒）
3. マスクは正しく常に着用
4. 友人などと集まりたい時は、オンラインで行うなど工夫を
5. 体調不良時は仕事や学校を休む
6. 食事、おやつ、歯磨きなど、マスクを外す場面では会話をしないなど、**飛沫に注意**
7. 目や鼻など首から上を触らない